

## ソーシャルインパクト指標の考え方（成果の見える化）

自治体が行う施策は効果が見えにくいという課題があります。そこで「世田谷区地域経済発展ビジョン」では、地域経済や地域産業への影響や波及が見える化する「ソーシャルインパクト指標」を設定しました。これは、「持続可能な地域経済」の実現度を定量的に把握しようとするものであり、他自治体にも例を見ない世田谷ならではの先進的な取り組みです。

### 地域産業や地域経済の充実と見える化のイメージ（例）

目指す姿ごとに、複数の指標を組み合わせ、個々に測定・評価をした上で、全体を指数化して見える化を図ります。11ある一つひとつの目指す姿の「柱（事業環境）」を高く・太くしていくことで、柱が安定し、そこで活動する事業者や区民が多くなり、より幸福度（ウェルビーイング）が高くなることを目指すイメージです。令和5年度を100とした場合に、本ビジョンの最終年度である令和13年度には全体が135となることを目指し、政策を実施していきます。

